



National
Institute of
Technology,
Kumamoto
College
Yatsushiro
Campus Alumni
Association

熊本高等専門学校八代キャンパス 楷友会会報

After 5

Vol. 32

2024.7

Official Homepage ▶ <https://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp/>

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627〔熊本高専八代キャンパス内〕 Tel 0965-53-1211 Fax 0965-53-1219 E-mail after5@kumamoto-nct.ac.jp

「楷友会」の皆様へ

熊本高専八代キャンパス同窓会楷友会会長 亀田 英雄



熊本高専八代キャンパス同窓会、楷友会の皆様、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会の活動について御理解を賜り、御協力を頂いていますことに厚く御礼を申し上げます。

先日は久しぶりに同窓会長として入学式に来賓出席してきました。初々

しい新入生を目の当たりにして、還暦を過ぎた身からすれば眩しくもあり、懐かしくもあり、あの頃の自分はどうかあったかと思返してみてもはっきりとした記憶はないものの、どの同級生も大人びて見え、大変なところにきてしまったと半端なく緊張していたのだけは思い出せました。

我々の頃はほぼ男子校でしたが、現在は女子が3割程度いますし、今年の新入生総代は女子の学生でした。入学宣誓の指名をされるとニコリと笑顔で返事をし、登壇しての落ち着いた見事ぶり、素晴らしい学生たちが入ってきたと安心しました。

熊本では台湾の世界的半導体企業の進出もあり、理系の学生に対する期待は高まっており、熊本高専の学生にも熱い期待を寄せられています。

昨年度は、新しいことに挑戦する学生を後押しする目的で「ファーストペンギンズプロジェクト」が開始されました。起業家や地域の方々と接し、視野を広げる機会を提供

するというので、自由にディスカッション出来る場所や各種工作機械を整備した施設が使えるようになっています。

社会に出れば、学校で得た知識をもってきちんと判断し、自ら行動出来る人材が求められます。新しいことに挑戦する時、正解というものはないのですから、その時の最善策を自分で導き出さなければなりません。その方法を学生時代に様々学べるということだと思います。

大いに活用して自らの武器として能力を高め、持てる力を存分に発揮し、これからの社会に貢献してもらいたいものだと思います。

これまで、全国各地に在る諸先輩方が築き上げてこられた努力によって高専に対する期待と評価がありますので、さらに高みを目指してください。

同窓会行事では、令和7年1月2日16時より八代グランドホテルに於いて、恒例の5年に一度の大同窓会を行いますので、皆様是非ともご参加ください。旧交を温め、学校をともに盛り上げていきましょう。5人以上のミニミニ同窓会についても継続していますので、是非、同窓会事務局にお問い合わせご利用ください。

結びに、これからも皆さんのご期待に叶うような同窓会活動に努めていきたいと思っていますので、これまで通りのご支援、お力添えを頂きますようお願い申し上げますとともに、ますますのご活躍を祈念致します。

近況のご報告

熊本高専校長 高松 洋



楷友会の皆様方はいかがお過ごしでしょうか。昨年の後半よりすべての活動がほぼコロナ禍以前の状態に戻りました。3月には卒業式・修了式、4月には入学式を多くの保護者の皆様のご列席のもと熊本県立劇場で行うことができ、卒業式後の祝賀壮行会も久しぶりに飲食付きのパーティーとすることができました。また、八代キャンパスでは、高専プログラミングコンテスト課題部門で文部科学大臣賞(最優秀賞)を受賞、ロボコン全国大会で準優勝するなど、学生諸君が様々なコンテストで優秀な成績を修めてくれ、大変嬉しく思っています。

会報の前号でも触れましたが、全国の高専にスタートアップ人材育成環境整備費という補助金が措置されたことを契機に、本校でもアントレプレナーシップ教育を開始し、「熊本高専ファーストペンギンズプロジェクト」と名付けました。教育についてはその分野の専門家がおられるわけではない

で、先生方に研修に行っただき、試行錯誤を繰り返しながら学生と一緒に学んでいくことになると思います。ただし、アントレプレナーシップ教育と言っても本プロジェクトで最も重要な点は、起業家の育成ではなく、チャレンジ精神の醸成だと考えています。そのための施設として、ファブリケーションラボを整備して工作機械や3Dプリンタなどを設置しました。最も力を入れたのは、学生諸君のディスカッションスペースとしてのコワーキングスペースです。専門棟2階の奥に3つのスペースから成るコワーキングホールを新設し、学生諸君に様々なアイデアを創出する場として使用してもらおうとともに、自分達の活動の発表会やアントレプレナーシップ関連授業にも使用します。他高専にはなく、そしてほかの部屋とも全く趣が異なるすばらしいスペースができましたので、是非、多くの方に見に来ていただきたいと存じます。また、起業された方をはじめ、最前線でご活躍の同窓生の皆様方には、是非、学生諸君に先輩として話をしに来ていただければ幸いです。

今後とも、後輩のため、皆様のご支援ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

全国プロコン最優秀報告とシス研のこれから

情報システム研究部5年 宮本 健太郎 (生物化学システム工学科)

この度、高専プロコンで最優秀賞をとらせていただきました。私たちのアプリ【転生将棋】は、コンセプトの面白さもそうですが、何よりも玄的な技術力が評価されて、この榮譽を頂けたのだと考えています。Django (on uvicorn) をサーバーサイドにおいて、フロントエンドはVueでつくる。SPAという方式のアプリを作成し、またasgi規格にアップデートしてリアルタイム通信を実装しました。加えて、機械学習モデルを用いた、将棋盤面の生成など、AI方面の実装も行いました。それらをDocker上で運用するという、デプロイまで考えたインフラ設計をしました。私は、アプリの企画、設計、開発、そしてプレゼンを行いました。来年、後輩たちには共同開発でより良いものを作ってほしいと思っています。突然ですが、私は3年生の時にインターンでのハッカソンで、強烈な体験をしました。それぞれ、三人一組のチームで開発を行うのですが、その全員が一人で開発ができる技術力を持っていました。会社ではそれが当たり前ですが、学生の私には、強烈な体験として残っています。全員が、一人でも開発ができるからこそ、分業ができて、完成度の高いアプリが作れる。その体験があったからこそ、システム研究部に入学して、共同開発を行いたいと思えました。私の中での理想は、部員全員がプロコンで賞を取れるレベルの技術力を持ち、それでいて共同で質の高いアプリを作るという事です。この記事の掲載時には私は卒業していますが、卒業までの私の仕事は技術の継承です。特に、ただプログラムが作れる人ではなく、ものづくりができる人になって欲しい。今回のプロコンで、先輩としての背中は見せることができたと感じています。

現在、私たちのキャンパスに、システム開発系の学科は存在しません。それでも、確かな技術力を持った人が生まれています。学科の勉強とは関係なしに、モノが作りたから、必要だから技術をつける。その根本的な欲求に根差した技術力を身につけています。現在の私の技術力は【学生なのにすごい】というレベルです。後輩たちには、それを超えてほしいですし、実際に超えてくれると確信しています。今回の最優秀賞は一步目でしかありません。これから、より面白いアイデアとシンプルな実装力で活躍していきます。これからも、活躍していく後輩たちへ、応援のほどよろしくお願いたします。



写真左より

上段 1BC 栗林 雄大, 1BC 岩谷 奏慈郎, 2MI 辻中 煌希,
3BC 稲富 将大, 4MI 福岡 睦仁

下段 1MI 守口 慧, 5MI 宮本 健太郎, 4MI 嶋中 海人

高専ロボコン部 近況報告

平素よりご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。昨年度の高専ロボコンは、「もぎもぎ!フルーツGOラウンド」という、障害物を乗り越えてフィールド上のフルーツを回収するルールでした。全国大会では、予選2回戦目で敗退してしまいましたが、ワイルドカードに選出され、順調に決勝まで勝ち進むことができ、準優勝をとることができました。このような結果を残すことができたのも、楷友会の皆様の日々の温かいご支援あってのことです。

現在は4月中旬ごろにルールが公開された今年度の高専ロボコンにむけて、ロボットの開発、実験を進めております。今年度のルールは「ロボたちの帰還」という、ロボットを投げ、投げられたロボットが課題をこなして帰還するというものです。昨年度と比べ安全面でも課題の多さでも難題となっておりますが、昨年度の反省を踏まえ、今

年度の全国大会出場、そして優勝を目指して部員・コーチが一丸となって尽力して参ります。今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。



熊本キャンパスロボコンチーム(左側)、校長・副校長、顧問教員と一緒に

熊本高専ファーストペンギンズプロジェクトについて

山下 徹 (機械知能システム工学科 准教授)

熊本高専が2023年度高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業を起点として取り組んでいる「熊本高専ファーストペンギンズプロジェクト」について紹介します。

ファーストペンギンとは、群れの中から最初に海に飛び込むペンギンで、最近ではリスクを恐れず挑戦的に行動に移すベンチャー精神を持った人や企業の呼称にも尊敬の念を持って用いられます。特に、様々な困難や変化に対して自身あるいは環境の現在の枠を超え、失敗を恐れることなく行動を起こし新たな価値を生み出していく精神を「アントレプレナーシップ」といい、本校ではこのアントレプレナーシップを身に付けた学生が数多く本校を飛び出すことをビジョンとしてファーストペンギン「ズ」と複数形を用い、教育に必要な施設および教育内容の整備拡充を行なっています。

設備面において、八代キャンパスでは2つの設備を新たに整備し、2月5日の施設お披露目式を経て利用開始となりました。コワーキングホール(写真1)は、協働でのモノ・コト・アイデアづくりや議論など、学生の学びを高めたり、視野を拓げるための活動を支援するスペースです。従来の学校施設と異なり、利用者をワクワクさせ、学生・地域社会・企業など様々な人の創造的な協働を促す場所を目指してデザインされました。専門棟2階の龍峰会館側のエリアにあり、講演会や授業等で使用している場合を除けば学外の方も含めて常時開放していますので、是非来校の際は、ご利用下さい。また、ファブリケーション・ラボ(写真2)は、アイデアをカタチにするためのものづくり活動を支援するスペースとして、実習工場隣の旧 共同教育研究棟に整備されました。旋盤やボール盤、ハンダ等の基本的な機械工作・電子工作ができるエリアの他、プラスチックやカーボン、シリコン等の様々な材料で造形が可能な3Dプリンターを多数設置したエリア、建築素材・建設素材の加工が可能な大型木工CNCルーターやレーザー加工機を設置したエリアが現在稼働中です。

教育面においては、アントレプレナーのマインドセットについて理解を深めるとともに、他者との協働の下での課題解決への挑戦を通してマインドの涵養を目指すことを目的とした教育を展開しています。全学生向けの教育として、本校出身起業家による講演を実施する他、リベラルアーツ実践Ⅰ～Ⅲでは、ユーザー視点での問題解決をはかるデザイン思考等の手法を用いてSDGsや学内・地域社会の問題の解決に取り組んでいます。また少人数規模では「新・閃きイノベーション」や「高専起業家サミット」等の課題解決やアイデア提案にも取り組んでいます。2023年度は学内での学生プロジェクト発表会「KNIT Student Project Showcase 2023」(KNIT-SPS 2023)を学生が主体となって計画し、2月6日にコワーキングホールのこけら落としイベントとして実施しました(写真3)。イベントには学内外から約320名に参加頂き、本科2年から専攻科2年までの計46グループが取り組みについてプレゼンテーションとポスターを発表を行ない、活発な意見交換が行なわれました。本イベントは2024年度も実施する予定です。

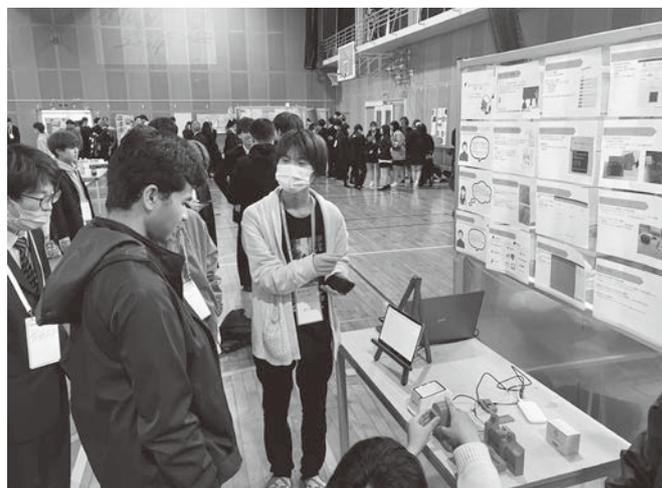


写真1 コワーキングホール



写真2 ファブリケーション・ラボ

写真3 KNIT-SPS 2023

ミニミニ同窓会

権遊会（八代高専OB.OG）ゴルフをこよなく愛する会

2023.12.12に忘年会として開催

この会は毎年5月3日に実施されており、高専OB.OGの大ゴルフコンペのお世話、運営を行う為の幹事会として発足しました。メンバーは、C1の緒方文親先輩を頭に18期生までの12名で18歳ほどの歳の差がありますが、優しい対応をしてくれる一期生の先輩の皆様のお陰で言いたい事が言える楽しい会となっております。

活動内容は、2ヶ月に一度のゴルフ。毎月になる事もしばしば。夏、冬の宴会。今年は霧島1泊2日のゴルフ旅行で、霧島ホテルに泊まり極上の温泉に宴会と楽し過ぎる2日間でした。これもまた恒例にしようとなりました。そんな和気藹々の会です。これからも楽しくやっていきたいと思っています。2025年1月2日の大同窓会でお会いしましょう。



生物工学科1期生 50歳を迎える年の同窓会

八代高専生物工学科1期生の同窓会を2023年12月30日に開催しました。私達は、卒業して30年、50歳を迎える節目の年となりました。ただ、この約4年間は新型コロナウイルスの流行により、行動や大勢での飲食等を制限しなければならない状況であり、この年に同窓会を開催して良いものか迷いました。8月、世間はコロナ禍前の状況に徐々に戻って来ており、県内の同窓生に呼びかけて8名が集まりました。久しぶりの再会に大いに盛り上がりました。

12月にもっと多くの人達とやれないかな？みんなの意見は即答で『やろう！』という事になりました。12月30日、同窓生10名と恩師2名が集い、懐かしい話や近況を語り合いあっという間の時間が過ぎました。全然時間が足らんかったなあ…まあ、それが良いのでしょうか。SNSで他の仲間とも写真等で共有して、次は是非参加したいとコメントを貰えると会える日が待ち遠しいです。だから、みんなが帰ってきたら集まれる場所、作っておきます。



〈参加者〉

12名 ※女性は旧姓です

岩本 章	峰村 依里	和田 勉
宮島 啓介	橋本 純子	松本 康雄
川上 龍彦	橋本 力	金田照夫先生
鶴山 周子	濱中 光徳	木幡 進先生

2013年度卒 八代工業高等専門学校 合同同窓会

八代工業高等専門学校を2013年度に卒業した私たちは、5年毎に同窓会を熊本で開催しており、前回が2018年12月29日でしたので5年ぶりに2回目を開催しました。

同窓生45名、恩師1名、未来の高専生(?)2名の計48名が参加してくださいました。

卒業から10年となると家庭を持つ人や遠方にいるもの等それぞれ事情がある為、前回より小規模になると考えていましたが、5年前とほぼ変わらずの人数で驚き、嬉しかったです。

5年ぶりの開催で久しぶりの再会ということもあり、はじめは緊張と不安がありましたが参加者の顔を見ると自然と会話が弾み、あっという間に楽しい時間は過ぎていきました。

またみんなで飲むばい!!集まってくれてありがとう!!

最後になりましたが、今回の合同同窓会開催にあたってお力添えいただいた、楷友会事務局の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

幹事代表 生物工学科卒 門内 瑞樹



2022年度小島研メンバー同窓会

昨年末、2022年度の小島研究室の同窓会を開催しました。卒業された後にも関わらず、県外で仕事や学生生活を送っている先輩や後輩に会うことができ、大変嬉しかったです。この会では、それぞれの仕事や学校での近況報告や、学生時代の話、現在の学校の状況など、様々な話題で盛り上がりました。また、酒席ならではの砕けた話もでき、時にICT系研究室ならではの専門の話もしながら、より一層親睦を深めることができました。個人的に、私はこれから社会人になるので、先に社会で働かされている先輩方のお話は大変参考になりました。加えて、社会人として高専という場所の貴重さ、高専での勉強の大切さを語り合ったのも印象に残りました。再び集まることができるよう、次の機会も計画していきたいと思えます。この度は同窓会の会費を援助していただき、ありがとうございました。

〈参加者〉AC7 松永 俊輔, MI7 村上 裕史
MI8 古川 照英, MI9 宮田 優作
E35 岩本 舞, E10 小島 俊輔
古川 照英 (MI 8)



同窓生だより

Dousousei-Dayori

近況報告

2018年卒 AC4 徳永 和真

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。近況報告を書く機会を頂きましたので、最近の出来事をお伝えさせていただきます。

原稿を書いている5月現在、私は転職を前に2か月ほどの有給消化期間中であり、卒業以来6年ぶりに高専を訪れました。久しぶりに先生方にお会いし懐かしさを感じるとともに、売店がコンビニになっていたり、図書館が綺麗になっていたり、改めて6年という時間の速さを実感しました。

私はAC科を卒業後、大規模な建設プロジェクトに憧れ、東洋エンジニアリング株式会社に入社しました。世界中で様々なプラント建設を行っている企業ですが、入社した当時は海外案件が少なく、私は入社4年目に愛知県蒲郡市でのバイオマス発電所の建設プロジェクトにアサインされました。1年弱ほどでしたが、目の前で650tクローラクレーンが鉄骨やボイラーを持ち上げ、発電所が少しずつ出来ていく過程は子供時代に戻ったように興奮し、とても刺激を受けた日々でした。



しかし、現場で行う業務がどこか自分に向いていないと感じると共に、入社2年目にDXの一環として携わったシステム開発や導入支援がとても楽しかったため、様々な方々と話し合いを重ね、社内のIT部門への異動を決めました。異動後は主にSalesforceの保守開発を担当し、2年半かけて要件定義からリリースまでを1で行えるようになりました。想像していた業務とのギャップに四苦八苦しながらも、実現方

法を考え、実際のシステムに反映していく過程はとても楽しく、より自分が担える仕事の幅を増やしたいと考えました。

6月からは、スタートアップにてITアーキテクトとしてのキャリアをスタートさせます。まだ30名未満の企業のため不安も多少はありますが、新しいことへの挑戦を精一杯楽しもうと思います。

プライベートではスキューバダイビングにハマり、4月にはフィリピンでもダイビングを楽しみました。他にもスカイダイビングやバンジー、最近はキャンプに行ったり1人旅を試みたりと、とても充実した日々を過ごしております。次はモーターパラグライダーをやりたいと画策中です！これからも、仕事でもプライベートでも、やってみたいと思ったことに飛び込むマインドを忘れず、チャレンジしていきたいと思っています。

最後に、AC科で学んだことをほぼ使わないキャリアへ進んでおりますが、卒業して6年が経過しても、毎日のように連絡を取ったり、毎月ご飯に行ったりできる友人ができたことが高専生活の最大の収穫です。これからも誘いに付き合ってくれる友人達に感謝しながら、いつでも自分の人生は幸せだと胸を張って言えるように、残り数年の20代を楽しんでいきます！

森下先生、今回このような機会を頂き、本当にありがとうございました。また遊びに行きます！



八代高専同窓会、楷友会の皆様ご寄贈いただきありがとうございます。

八代高専同窓会、楷友会の皆様、日頃より母校の図書館運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年度、改修工事を終えて、令和5年6月19日から再オープンしました図書館に、皆様からの温かいご支援により、在校生が必要とする図書を、令和4年度は120冊、令和5年度も108冊、配架することが出来ました。令和5年度は資格・検定試験に関する本を中心に選定し、図書館カウンターの近くに「資格・検定試験のコーナー」として新設いたしました。学生さんからもわかりやすい場所に本を集めたことで、立ち止まって手にする姿をよく見るようになりました。

また、令和4年度の卒業生からの記念品として、1人掛けブースソファを4台ご寄贈いただきましたので、コーナーとして設置し、好評を博しております。

昨年度末に同窓会長の亀田様が図書館へ視察にお越しになり、お話する機会がありました。その際、以前より発行していましたが「図書館だより」の副題を、令和5年度発行号から「楷の木」としたことをお話しましたところ喜んでいらっしゃいました。皆さまもお近くにお越しの際は、是非母校の図書館にもお立ち寄りくださいませ。校門前の楷の木とともにお待ちしております。

同窓会支部より

第5回楷友会関西支部総会開催！

C18 本田 英樹

円安とコロナ5類以降の影響か、某私鉄急行は海外の方しかおらんの？と思う今日この頃。

去る2/23(金)13:00より、楷友会関西支部総会を、パーティステージカンパニーにて開催いたしました。

本部の亀田会長・磯谷副会長をはじめ、関西・中部・関東はもとより、海外からも(!)含め、計21名。

まずは会則改定の説明後、亀田会長よりご挨拶・乾杯の音頭をいただいたのちに各自歓談という流れ。

その後は初めての方も久しぶりの方も自己紹介。

途中、磯谷副会長から高専の現在の状況などをご紹介いただき、懐かしさや目新しさもあって大いに盛り上がりました。

2次会はすぐそばのカラオケ店で開催。

総会に引き続き、懐かしい話などで大いに盛り上がりました。(歌った方はあんまりおらんかっ

たような…)

今後も継続的に活動を行ってまいります。

関西在住の方は是非会員登録をお願いします。本誌が郵送された方は同封の登録案内を、pdfでご覧の方は「関西楷友会」で検索か<https://wkaiyoukai.jimdofree.com/>をアクセスしてみてください。

2024年4月28日

文責：楷友会関西支部 広報 C18 本田



令和5年度 新クラス幹事紹介



MI科 幹事 第10期 原田 龍汰

この度、新しく機械知能システム工学科クラス幹事を務めさせていただく原田龍汰と申します。私は本科卒業後、今現在は専攻科に在籍しており来年度は九州大学筑紫キャンパスへと鞍替えをさせていただきます。中学時代から抱いていた夢を着実に叶えつつあり高専に入ってよかったと、この節目を機にしみじみと感じております。これからは学問というよりも研究が本分となってくると思いますので、大学院進学も視野に入れて切磋琢磨して参ります。

高専に来て後悔はしておりません。先生方然り同級生、先輩、後輩にしてもいつも暇をさせないほど個性豊かで、真面目で愉快で、それ故に多くの思い出を作ることが出来ました。これからは皆さんとの絆が途切れぬよう、同窓会の活動に積極的に参加し貢献していきたいと考えています。これからもよろしく願いいたします。



AC科 幹事 第10期 谷口 隼斗

同窓会の皆様はじめまして。この度建築社会デザイン工学科第10期クラス幹事となりました、谷口隼斗です。本科卒業後、株式会社コスモホームに就職し、一戸建て住宅の設計を行っています。

5年間を共にした同級生の仲間や、多岐にわたって様々なことを熱心に教えてくださった先生方、在学中は大変お世話になりました。社会人として生活していく中で、高専という恵まれた環境への感謝や、5年間切磋琢磨した仲間の大切さを改めて痛感いたしました。私にとって高専での思い出は、必ず一生の宝物になるものです。この縁を切らすことがないよう、クラス幹事として一生懸命活動していきます。

楷友会の諸先輩方と新たにご親睦を深めさせていただくことはもちろん、これから先の同窓会で同級生の皆様とまた懐かしい話ができることが楽しみです。同窓会の呼びかけなどの活動を精一杯頑張りますのでよろしく願いいたします。



BC科 幹事 第10期 坂口 慧飛

同窓会の皆様はじめまして。この度、生物科学システム工学科第10期クラス幹事を務めることになりました坂口慧飛と申します。卒業後、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は高専卒業後、熊本大学に編入学しました。只今、レポート、レポート、レポートと高専の皆さんが一度は通ってきた忌まわしい期間の真っ最中です。レポートに追われる中で、共に笑い、共に困難を乗り越えてきた友人の大切さを身に染みて実感しております。先日、高専専攻科や地元で就職した友人と久々に会う機会がありました。高専時代の友人は言葉で表現できない安心感がありました。地元に残っている人も地元を離れた人も、時間がある時は、盃を交しながら近況報告やしようもない話をして盛り上がりましょう。高専時代が懐かしく思うはずですが、最後になりますが、クラス幹事として皆様のご期待に添えるよう、精進して参ります。何卒、よろしく願い致します。

学科近況

機械知能システム工学科の近況について

機械知能システム工学科長 小田 明範

楷友会の皆様、お世話になっております。昨年度、熊本高専はJABEE審査、機関別認証評価の審査、高専機構の監事監査と、3つの「外部審査」のあたり年でした。審査への対応は大変で、事後対応が必要な件もありますが、お蔭様で概ね無事に終わりました。

さて、以下にMI科教員の近況を示します。

- 古嶋先生 5年担任を終わり、今年度より3年担任をご担当です。
- 田中禎一先生 副校長6年目です。非常に重要な要職で、八代キャンパス（YC）をとりまとめておられます。
- 毛利先生 昨年度は学科長と3年担任、今年度は4担任とキャリア教育推進室のYC長をご担当です。
- 井山先生 研究主事の後、昨年度よりGLセンターのYC長、今年度はGLセンターのYC長と九大との連携教育プログラムのクロスアポイント教員もご担当です。
- 田中裕一先生 地域協働プロジェクトセンターのYC長のご担当をされた後、昨年度から研究主事をご担当しておられます。
- 湯治先生 3年間の専攻長の後、今年度は図書館長と学生募集のご担当です。
- 村山先生 学生主事を4年ご担当された後、今年度から専攻長をご担当です。
- 山下先生 5年担任の後、教務主事補の3年目をご担当です。また、アントレプレナーシップやリベラルアーツ関係の対応もしておられます。
- 西村先生 令和4・5年度にかけての1年間、在外研究（スペインのバルセロナ）、そして、今年度は寮務委員をご担当です。
- 西先生 学生主事補ご担当の後、4年担任（R5年度）および5年担任（R6年度）をご担当です。
- 柿ヶ原先生 3年担任ご担当の後、昨年度より学生主事補をご担当です。

小田は、教務主事を昨年度で終わり、今年度から学科長です。定年退職まであと少しです。豊浦先生、宮本先生、木場先生は、それぞれ2019年度、2020年度、2021年度に、嘱託教授を終えられました。また、大河内先生と河崎先生は、平成26年度に本校の嘱託教授を終えられ、その翌年度から継続して今年度も本校の特命客員教授として、科学技術教育支援や学生支援講師をご担当です。

MI科教員の集合写真を示します（2023年度の卒業アルバム用）。2016（平成28）年度のMI科集合写真は17名でしたが、今回の2023年度のものには12名で5名も減っています。熊本高専の教員数はこの数年新規採用がほぼない状況で残念ながら着実な「高齢化」が進んでいます。八代キャンパスではもっとも若い先生ですら30台後半です。また、平成22年度に熊本高専は第一期生を迎え、すでに、10数年経過しており、当初は八代キャンパスの教員数が熊本キャンパスよりかなり多い状況でしたが、複数の先生のキャンパス間の異動等もあり、令和6年度は教員数が逆転しています。



教員数が減る状況はもう少し続きますが、学生が不利益を受けないように、我々教員も工夫しながら、頑張っていきたいと考えておりますので、楷友会の皆様もご助力を賜れば幸いです。

MI科教員集合写真
（2023年度卒業アルバムより）
1列目左より
村山 井山 小田 毛利 古嶋
田中禎一 田中裕一
2列目左より
湯治 柿ヶ原 西 西村 山下

Gakuseikai

学生会だより

Dayori



熊本高専八代キャンパス
学生会会長
もり しゅう
4年 森 秀

同窓会の皆様、はじめまして。挨拶が遅くなってしまいましたが、今年度の学生会会長を務めさせていただき4年生物化学システム工学科の森秀と申します。これから、学生のために最後まで全力で尽力させていただきます。

学生会会長としての仕事は始まったばかりですが、もうすでにいろんなことに手いっぱいになってしまい歴代の先輩方を改めて尊敬する日々が続いています。私が学生会に入ったのは2年前のことでした。一昨年、

去年と頼もしい先輩の背中をただただついていだけで精一杯でした。そんな先輩たちがいなくなり、今年から自分が後輩を引っ張っていく存在となりました。先輩たちのような頼もしい姿を後輩たちに見せることは難しいかもしれませんが自分なり

の先輩としての姿を見せることができたらいいなと思っており。今年は去年と同様、様々なことに挑戦していく予定です。学生会役員一同、助け合い困難を乗り越えていきますのでどうか温かい目で見守っていただくと幸いです。

さて、今年も1年生が入学し元気な声が校舎や寮を問わず学校中に響き渡っています。今年から学生会では新入生向けの相談コーナーを昼休みに設けています。相談コーナーにいる私たちが怖いのかどうか分かりませんが、相談に来る1年生が少ないです。相談コーナーから昼休みを楽しんでいる1年生を見ると自分が学校に入ったばかりのことを思い出します。自分が右も左も分からない1年生だった頃いろんな先輩方に助けてもらったことを思い出します。これからは自分が1年生を助けることができたらと思います。

最後になりますが、これからも我々学生会一同は学生のより良い学校生活を築き上げるために精進していきますのでどうぞよろしく願いいたします。長くなりましたが、ご挨拶とさせていただきます。

令和6(2024)年度 同窓会及び学校行事

5月27日～6月5日	高校総体熊本県大会	10月25～28日	高専祭
7月5～21日	九州沖縄地区高専体育大会	11月9～12日	ラグビー九州沖縄地区高専体育大会
8月4日	オープンキャンパス	11月17日	ロボコン全国大会(国技館)
8月21日～9月8日	全国高専体育大会(北海道)	11月2～3日	全国高等専門学校デザインコンペティション(阿南)
9月9～10日	九州沖縄地区英語プレゼンテーションコンテスト	令和7年(2025)	
10月19～20日	全国プログラミングコンテスト(奈良)	1月25～26日	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
10月13日	ロボコン九州沖縄地区大会(都城)	3月23日	卒業式 修了式

2023年度 大会成績一覧表

九州・西日本地区大会

【第60回九州沖縄地区高等専門学校体育大会】

■陸上

男子100m	7位	柿本晃太郎
男子400m	2位	水田 悠人
男子110mH	6位	星田琥太郎

■バレーボール

女子	3位	
----	----	--

■バドミントン

女子団体	2位	小森田夏実 西村 羽誕 中村 琉那 渡邊 莉奈 野田 華凜 坂口 奈々 永井 天那
女子シングルス	3位	坂口 奈々
女子ダブルス	優勝	小森田夏実 坂口 奈々
	3位	西村 羽誕 永井 天那

■水泳

男子50m自由形	8位	河野 裕太
男子100m自由形	3位	渡並 俊介
	8位	山口裕一朗
男子200m自由形	6位	山本 樹
男子800m自由形	2位	渡並 俊介
男子100mバタフライ	4位	山口裕一朗

男子400mリレー 4*100mフリーリレー

8位	山本 樹 渡並 俊介 山口裕一朗 河野 裕太
----	---------------------------------

女子50m自由形

7位	堀川 桃子
8位	下釜 涼那

女子100m自由形

5位	堀川 桃子
6位	下釜 涼那

■卓球

男子団体

2位	柳森 順成 橋本 拓未 坂口 智哉 桑原 愛翔 中村 朋麒 橋岡 駿 花岡 貴優
----	--

女子団体

2位	光永 愛実 勇 滯里 榎田 藍 新富 柚月 坂田麻衣子 入江 泉樹
3位	光永 愛実
3位	勇 滯里
2位	光永 愛実 勇 滯里

女子シングルス

女子ダブルス

■柔道

団体

3位	山田悠大朗 迫 大佑 伊佐 魁馬 古閑 柊平
2位	迫 大佑
2位	伊佐 魁馬
3位	古閑 柊平

男子66kg級

男子73kg級

男子81kg級

■ハンドボール

交流リーグ

1位	佐藤 美優 黒木 乃愛 飯谷 彩乃 佐生恵美子 竹田 真麻 林 小梅 黒木 心 平田 葵子 吉良 和佳 山内 花南
----	--

【第56回九州沖縄地区英語プレゼンテーションコンテスト】

■プレゼンテーション部門

3位	大西 輝
----	------

【高専ロボコン2023九州大会】

Highbrid(ハイブリッド) Aチーム

2位	満永 礼 齋藤 広平 有馬 無限
----	------------------------

【2023ロボットアイデア甲子園熊本大会】
APCbot 優秀賞 佐々川諒太郎

【地域課題解決のための政策アイデアコンテスト】
「遙拝八の字広場」の利活用について
～現状の課題と今後への提案～
熊本経済同友会賞 増田 晃大
橋本 光世
原武 杏吏
渡邊 春奈
宮崎 芽衣
土田 夏海

【コンクリート工学次大会2023(九州)ポスターデザイン】
人をつなぐ未来をつなぐコンクリート
優秀賞 竹田 真麻

全国大会

【高専ロボコン2023全国大会】
Highbrid(ハイブリッド) Aチーム
2位 満永 礼
齋藤 広平
有馬 無限

【Japan Steel Bridge Competition 2023】
MAS-Bridge (Mt. ASO Bridge)
構造部門 2位 川涯 楓
総合部門 3位 佐井藤瑞姫
竹崎 一花
前床琉璃菜
溝上 真琴

【第15回全国高等学校鉄道模型コンテスト全国大会】
桜の駅 審査員特別賞 磯部 大樹
北田 陽菜
段本 千帆
永田 柁
米村 煌嘉

【第34回全国高等専門学校プログラミングコンテスト】
「転生将棋 -新感覚中盤トレーニング-」
最優秀賞、文部科学大臣賞、
情報処理学会若手奨励賞、
電気情報通信学会若手奨励賞、
NAPROC国際プロコン最優秀賞
宮本健太郎
稲富 将大
辻中 煌希
岩谷奏慈郎
栗林 雄大

(1) 同窓会記念行事積立金 合計 7,922,809 円 ◎積立金2(普通預金口座) 3,399,511 円
◎積立金1(定期預金口座) 4,523,298 円 内訳: 3,399,511(前年度) + 0(今年度積立金なし) = 3,399,511
内訳: 4,523,220(前年度) + 78(定期利息) = 4,523,298

(2) 事務局収支決算

◆収入の部

項目	予算額(円)	収入額(円)	備考
前年度繰越金	792,428	792,428	2022(R4)年度より
入会金	1,270,000	1,270,000	入会金:10,000円×127名(2023(R5)年度入学者)
年会費	1,400,000	1,479,000	口座自動引落(1,800円×265名), コンビニ・郵便振込(2,000円× 387名+4,000円×3名), 令和5 年度卒業生(2,000円×108名)
寄附金	0	1,100,000	C7 山本 茂継 様, C8 藤本 忠之 様
預金利息	20	34	普通預金利息
積立金戻入れ	0	0	
その他	0	0	
計	3,462,448	4,641,462	

◆支出の部

項目	予算額(円)	支出額(円)	備考
事務手当	250,000	250,000	
事務費	370,000	333,311	Facebook管理, サーバ運営費, 振込手数料等
通信費	420,000	385,915	会報誌送付, 切手代等
会議費	200,000	168,020	コラボ九州, 支部活動本部派遣, 新幹事 歓迎会, その他
会報誌印刷費	720,000	692,059	会報誌1,600部, ダイジェスト版3,900部
くま川祭り諸経費	0	0	2020(R2)年度より不参加
母校後援費	500,000	508,977	高専ロボコン・高専プロコン支援, 熊本 高専八代C図書館へ書籍107冊寄贈
大同窓会等 運営関連経費	200,000	72,000	ミニミニ同窓会申請4件(2,000円×36名)
同窓会PR活動費	100,000	119,075	卒業生へ紅白求肥贈呈, リベラルアーツ発表 会副賞, オープンキャンパスポスター副賞
会員名簿発行費	351,000	351,000	2022(R4)年度卒業生117名に進呈
支部活動後援費	100,000	50,000	関西権友会活動支援
積立金	0	0	
予備費	251,448	0	
次年度繰越金	-	1,711,105	2023(R5)年度から2024(R6)年度へ
計	3,462,448	4,641,462	

令和5年度会計報告

◆収入の部

項目	今年度 予算額(円)	前年度 予算額(円)	増減	備考
前年度繰越金	1,711,105	792,428	918,677	2023(R5)年度より 繰越
入会金	1,280,000	1,270,000	10,000	2024(R6)年度入学生 (新1年生128名)
年会費	1,400,000	1,400,000	0	
募金受入	0	0	0	
預金利息	40	20	20	
雑収入	0	0	0	
積立金戻入れ	0	0	0	
計	4,391,145	3,462,448	928,697	

◆支出の部

項目	今年度 予算額(円)	前年度 予算額(円)	増減	備考
事務手当	250,000	250,000	0	
事務費	370,000	370,000	0	Facebook管理, サーバ運営等
通信費	420,000	420,000	0	
会議費	230,000	200,000	30,000	コラボ九州(九州地区高専同窓 会)参加など ホテル代等物価上昇に伴い増額
会報誌印刷費	720,000	720,000	0	
くま川祭り諸経費	0	0	0	2020(R2)年度より不参加
母校後援費	700,000	500,000	200,000	部活支援, 学生支援, 学校支援等
大同窓会等 運営関連経費	700,000	200,000	500,000	大同窓会に向けた取り組み(ミ ニミニ同窓会支援), 大同窓会 (2025/1/2開催)案内送付, 会場費, 司会謝礼, その他運営
同窓会PR活動費	150,000	100,000	50,000	卒業祝い, リベラルアーツ発表 会副賞, 学生コンペ(オープン キャンパスポスター)副賞
会員名簿発行費	300,000	351,000	-51,000	R6年度より名簿管理・発送 費を30万円/年で契約. 2023(R5)年度卒業生へ進呈
支部活動後援費	200,000	100,000	100,000	関東権友会, 関西権友会
積立金	0	0	0	
予備費	351,145	251,448	99,697	
計	4,391,145	3,462,448	928,697	

令和6年度予算案

事務局からのお知らせ

年会費について

年会費(2,000円)の徴収についてご理解とご協力をお願い

同窓会の運営は会員の皆様からの会費で賄われております。年会費の徴収にご理解とご協力をお願い申し上げます。年会費の納入方法には次の3種類があります。

①口座自動引落し

ゆうちょ口座や銀行口座より、毎年12月中に自動的に引落します。

振込の手間が省けるだけでなく、特典として年会費が1,800円に、また会員名簿が割引価格になります。

口座自動引落しを希望される方は、事務局に電話かメールにて「年会費を自動引落しにする」とご連絡下さい。手続きに必要な書類を送付します。

②郵便局・コンビニ振込

同封の年会費振込用紙にて、全国の郵便局およびコンビニエンスストアで振り込めます。

③各種 Pay アプリ

LINE Pay 請求書支払い、PayPay、au PAYをご利用いただけます。同封の年会費振込用紙のバーコードを各種 Pay アプリのコードリーダーで読み込み、お支払いください。

【連絡事項】

- 1) 会報誌に年会費の振込用紙が同封されていない方は、3月卒業生ですでに納入済みか、今年12月に引き落とし予定の口座自動引落しの方です。
- 2) 口座自動引落をされている方で、銀行への登録情報の変更により、引き落としができない方がいらっしゃいます。ご連絡いただければ書類をお送りしますので、手続きをお願いいたします。

住所変更手続きのお願い

引越等で住所が変更になった方は、同窓会事務局へのご連絡をお願いいたします。変更は、電子メール after5@kumamoto-nct.ac.jp にて受け付けています。会員番号(例: M0199)または卒業年・学科・お名前・現住所を記載ください。なお、受付の際に本人確認の質問を行いますので、ご了承ください。

ご寄付のお願い

会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に多大なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。さて、これまで卒業生の皆様には平成20年より用途を授業料の支払いに限定した「学生支援基金」のご寄付をお願いしてまいりましたが、昨今の状況を踏まえ、授業料の支払い以外にも支援の対象を広げた更なる学生支援や同窓会活動の拡充のためのご寄付をお願い致します。令和5年度以降は、C7期の山本茂継様、C8期の藤本忠之様より心温まる寄付を頂きました。誠にありがとうございました。

寄付金の額は設定しておらず、少額でも受け付けております。ご賛同いただける場合は、お手数ですが最寄りの銀行よりお振込をお願いいたします。氏名欄にお名前、学科、卒期(M, E, C, B, MI, AC, BC ○期)をお書きください。郵便局の窓口からお振込の場合は通信欄にご記入ください。また、寄付金の用途をご希望の場合は、お振込いただいた後にメールや電話で、「学生支援」、「学校支援」、「同窓会活動支援」などをお知らせください。ご希望のご連絡がない場合は、同窓会事務局で検討し、学生支援をはじめとする幅広い同窓会活動に活用させていただきます。また、次回のAfter5で寄付していただいた方のお名前のみを掲載させていただきます。

肥後銀行 八代支店

普通 1808278

熊本高専八代キャンパス同窓会「楷友会」

出納担当 河津 秀利

同窓会名簿発行のお知らせ

今年度は4年に一度の名簿発行の年で、現在、ハガキ・電話による現状調査中です。同窓会会員名簿は、同窓会・学校・会員間交流のために発行しておりますので、ご理解ご協力の程、なにとぞよろしくお願い申し上げます。なお、今回より、会員向け名簿への電話番号の掲載は行いませんのでご承知おきください。(名簿業務委託先: 小野高速印刷株式会社)

会報誌のPDF版について

会報誌は、楷友会 Web でも閲覧できます (PDF版)。

<https://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp/>

ID : yncftafter5 PW : S4ppNh



楷友会 Web

編集

Editor's Note

後記

数年間のコロナ禍を経て、仕事や連絡を teams でおこなうことが多くなりました。本会報誌の原稿のやりとり、編集でも teams が大活躍でした。オンライン上であれば職場、自宅、出張先どこからでも使えて便利な反面、当事者に直接会うという機会がとてまもなく少なくなったと思います。大事な案件、頼みづらい案件の際はなるべく直接会ってお願いしていましたが、最近では些細な案件でも健康のためカロリー消費を兼ねてなるべく足を運んで(歩いて)会いに行くようになりました。直接会った方が相手の表情もわかり、雑談も生まれて楽しい気がします。(吉永)